



多摩交流センターだより

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会

2019年7月・8月開催予定の講座案内



185回 題名 薬は賢く選びましょう

日時 2019年7月11日(木) 14:30から約1時間

講師 加藤 哲太 氏
(一社)日本くすり教育研究所代表理事・元東京薬科大学教授

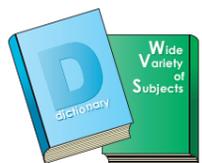
内容 「医薬品医療機器等法」において、医薬品の適正使用や、これらの有効性及び安全性に関する知識と理解を深める努力が国民に義務づけられています。この講座では、高齢者への薬物投与について、服用が多い薬剤の使用・併用の留意点及び緩和医療に関する薬剤使用、さらに最近問題となっている薬剤耐性の拡大防止などを取り上げます。



- 受講料 無料 (ただし資料代100円)
- メイン会場 多摩交流センター 第2会議室 (申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場 武蔵野市西久保コミュニティセンター
- ライブ中継・VOD視聴について
多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ (<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>) から無料で、当日の講座の視聴 (ライブ中継) や過去の講座を視聴 (VOD視聴) することができます。

問合せ先 TEL070-2685-3602 (高原) TEL0422-52-0908 (菅原)

186回 日時 2019年8月8日(木) 14:30から約1時間
題名 開発技術者は悪人か?
講師 小西 義昭 氏 (KoPEL小西技術士ラボ代表・博士(工学)・技術士(機械部門)・(一社)ライフサポート学会顧問)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

2019年8月講義案内

(受講料は会員無料・会員外は8月8日を除き、1回500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1190回	8月1日(木) 14:00から	70歳からの シニア生活を考える	五十嵐 強 氏 (ファイナンシャルプランナー)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 商工会館3F)
第1191回 ※	8月8日(木) 14:30から	開発技術者は悪人か?	小西 義昭 氏 (KoPEL小西技術士ラボ代表・博士(工学)・技術士 (機械部門)・(一社)ライフサポート学会顧問)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市西久保コミュニティセンター (JR三鷹駅北口 徒歩7分)
第1192回	8月15日(木) 14:00から	新宿中村屋相馬黒光の肖像	濱口 晴彦 氏 (早稲田大学名誉教授)	小金井市前原暫定集会施設 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井市役所向い、商工会館隣)
第1193回	8月22日(木) 14:00から	社会福祉の主体は人	河 幹夫 氏 (神奈川県立保健福祉大学名誉教授)	コール田無 (西武新宿線田無駅北口 徒歩7分)

☆申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。
※第1191回は、第186回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。
問合せ先 TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原)

TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ

第118回

初心者のための “秩父観音巡礼” 10倍楽しむ旅の話

【講師】 服部 文晴 氏

昨年TAMA市民塾にて『西国・坂東・秩父百寺観音巡礼の旅』講座で講師を務めた。アクティブ未来工房を主宰し、「手作り『ご朱印帳』」などのイベントを生涯学習センター、カルチャーセンターなどで開催している。2017年西国三十三所礼所委員会「先達者」資格を授与される。

【内容】 昔から巡礼は「男は坂東、女は秩父」といわれてきました。近さや経済的なことで秩父が好まれたのでしょうか。どうやら秩父は、それ以外にも多くの老若男女を引き付ける憧れの聖地でもあったようです。

- 1) なぜ、秩父が「百観音霊場」に選ばれたのでしょうか
- 2) どうして、秩父は女性に人気があったのでしょうか
- 3) そして、今こそ“秩父巡礼”にあつい想いを!

小さなお堂、無数のお地藏さま、小川のせせらぎ、草木がなびく巡礼古道はまさに心の修行の道ともいえます。「いつかきつと」秩父巡礼をする人のために、楽しめるお勧め講座です。



日時 2019年7月21日(日)
14:00~16:00
場所 多摩交流センター会議室
府中駅北第2庁舎6F (府中市寿町1-5-1) (京王線 府中駅北口下車 徒歩5分) ※駐車場はありません。ご注意ください。
申込方法 当日会場にお越しください
先着50名までとさせていただきます
受講料 無料
問合せ先 多摩交流センター内 TAMA市民塾
TEL 042-335-0111

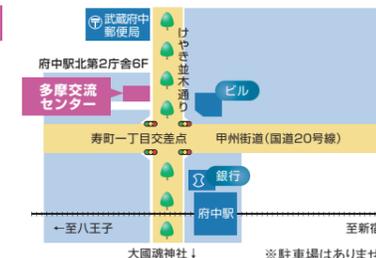
「多摩交流センターだより」の問合せ先

(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F
TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- 新しい時代も3月目となり、令和“初”の夏がやって来しました。
ぐるり39の表紙と最終面の「とっておきフォトスポット」は、夏季には東京の島しょ町村の美しい景色を掲載することが毎年恒例で、今月号は三宅島です。
この時期は、島の魅力を存分に味わえる絶好の季節です。皆さんも夏休みに是非、東京の島しょ地域を訪れてみて下さい。
- さて、2ページでお知らせしたとおり、当調査会は7月22日(月)に「府中市市民活動センタープラッツパルトホール」で調査研究結果発表シンポジウムを開催いたします。
今回のテーマは『持続可能なまちづくりを考える～地方創生×結婚支援～』です。是非、ご来場ください。
- 先日、このシンポジウムで基調講演を行う渥美氏の「働き方改革」に関する話を聞く機会がありました。別テーマですが、実は働き方改革と結婚は次のように大きく関わりがあるといえます。
『結婚』も『WLB(ワークライフバランス:働き方と生活)』も、個人にとっては家事、育児、介護などの場面でリスクマネジメントとなります。
一方、企業においては、結婚は離職率を下げ職場に長く

定着する要因となり、WLBの推進は更にブランドイメージを上げるため、人材確保の観点から取り組む意義が高いそうです。

また、自治体でも結婚支援とWLBの推進は納税者としての将来にわたる人口確保や住民幸福度の向上、健康維持、地域活動への参加による地域の活性化につながります。

このように、両方とも個人、企業、自治体にとって重要な課題となっています。

○ 東京は、全国的に見て所得が高く、若年人口の流入が続いているため、危機感が希薄であると言われていました。しかし、北陸のある県では、共働きで収入が安定している上に、住宅価格や教育費、物価も低いので、子ども2人を持つ世帯の家計を比べると、60歳までの収支差(黒字額)は東京より数千万円多いと試算しているそうです。
東京もどうかしていただけない状況です。

○ 今月は、国政選挙も予定されており、来年に控えた東京五輪に向けて、交通量削減など様々な社会実験的な取組が行われるなど、例年と勝手が異なる忙しい夏季となりそうです。たまには都会の喧騒から離れて、夏季休暇でのんびりできる島しょ旅行を計画してみたいかがでしょうか。(M.N)